

差動トランス式歪計 MST-210シリーズ



本計器は、土木建築工事での山留や基礎において、シートパイル、鉄管、鉄管矢板、H鋼、コンクリート壁、コンクリート杭等、設置して歪を測定することができます。

検出部には高精度な差動トランスを使用し、絶縁低下による影響も受けにくい為、長期間にわたり安定した測定が可能です。

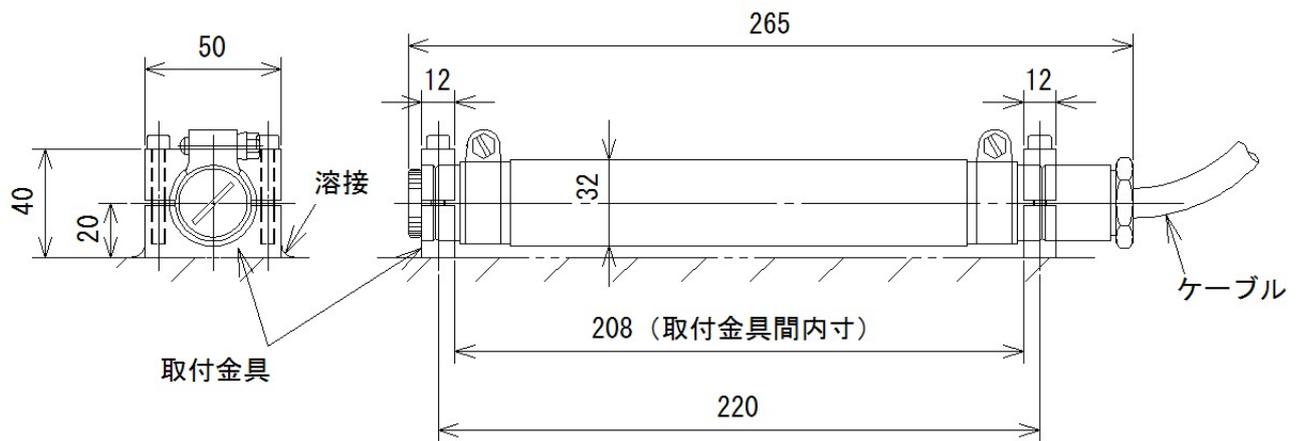
【特長】

1. 湿度による絶縁低下に対して影響を受けにくくなっています。
2. 独自の設計により優れた温度特性をもち、見かけ上の線膨張係数は鋼材の線膨張係数とほぼ同じです。
3. 歪の検出は非接触で、独自の構造、取付方法により機械的に安定度の高い設計となっております。
4. 独自平衡測定回路のフィードバック効果により電氣的に高い安定性があります。
5. センサー本体はケーブル接続部も含めて耐水(1MPa)構造となっており、金属製保護管も装着しているため、堅牢性に優れ、現場での取り扱いも容易です。

【仕様】

項目	仕様
形式	MST-210A (標準耐水型) ※標準品 MST-210B (圧力バランス型) ※被圧水圧の変動する場合
容量	$\pm 2381 \times 10^{-6}$
分解能	0.47×10^{-6}
許容負荷	容量の120%
直線性	0.8%FS以下
使用温度範囲	-60~+80°C
温度ドリフト	$\pm 0.94 \times 10^{-6} / ^\circ\text{C}$ 以下
温度感度変化	0.01% / °C以下
付属ケーブル	内部シールド付フレキシブルコイルケーブル(VC-03-2-2-Φ11)
外装	スチール、黄銅、ゴム
重量	約1kg (ケーブルを除く)

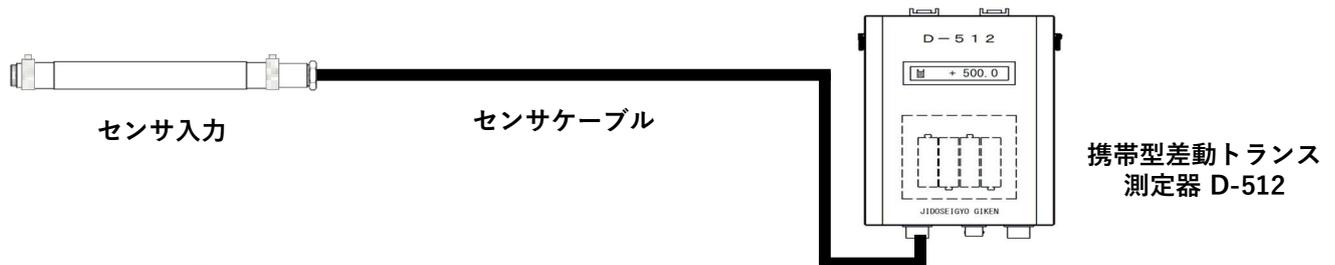
【外観図】



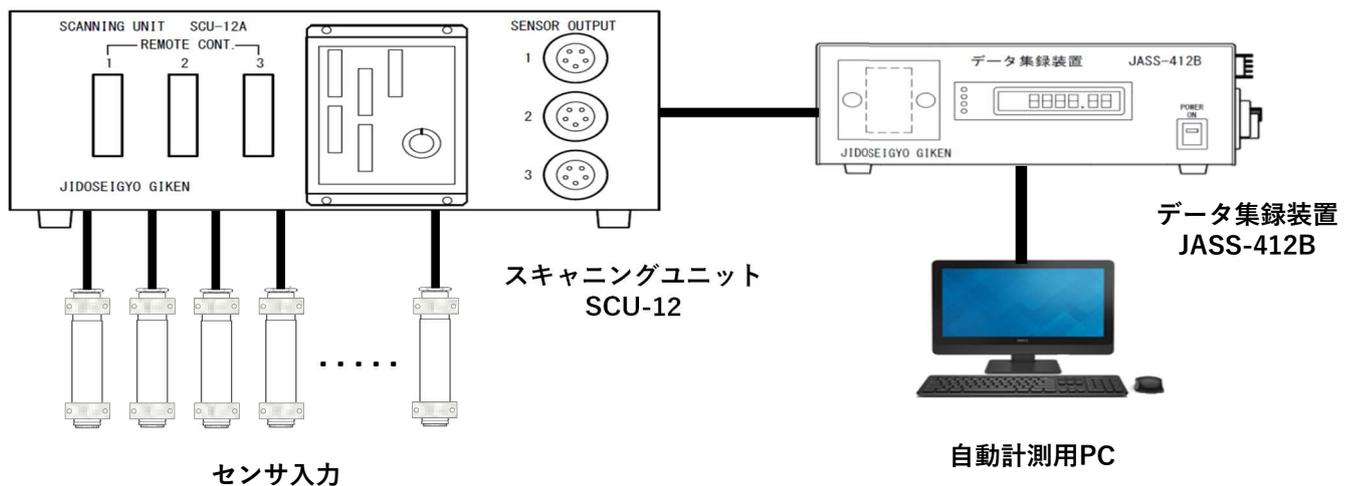
歪計の取付：ダミー棒の両端に取付金具をセットし、被測定体に溶接する。次にダミー棒を取りはずし、歪計をセットします。

【測定ブロック図】

◆単独接続の場合



◆複数接続の場合



株式会社 自動制御技術研究所

●本社所在地 〒143-0022
東京都大田区東馬込1丁目7番5号
TEL 03-3776-1213
FAX 03-3775-1142
E-mail info@jsg.co.jp

掲載内容は予告なく変更することがあります。
掲載内容は平成29年4月現在のものです。